

## 九州支部

支部長 小杉寿文

### 【第47回九州支部研究集会（完全WEB）開催報告】

九州支部では、さる10月3日（土）に完全WEB方式にて「第47回研究集会」を開催いたしました。

当初は『みんなで考えよう 生と死に寄り添うために～さまざまな事例を通して～』を大会テーマに据え、8月に福岡国際会議場に集まったの開催を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染症の流行拡大状況を鑑み、プログラム内容も大幅に変更して、ZOOMによるライブ配信の形となりました。

午前中は『介護のちからとこころ』と題して、長田病院緩和ケア専任課長の石橋あかねさんにご講演を頂き、午後からは3題の事例検討発表を行った上でチャット機能と音声とを併用しながら質疑応答、意見交換をいたしました。このようなオンラインでの研究集会は初めてのことで試行錯誤の運営となりましたが、延べ65名の参加を得ることができ、終了後に行ったWEBアンケートでは「発表途中でもチャットで感想や質問ができるため、対面式より発言しやすかった」「自宅にいながら深い学びができ、いつもの九州支部研究集会の雰囲気伝わり、とても有意義な時間だった」との声が寄せられ、手応えを感じるものとなりました。

### 【第45回日本死の臨床研究会年次大会について】

九州支部は、2021年冬に第45回年次大会を開催すべく、支部役員有志による年次大会実行委員会が中心となって準備を進めております。当初の計画では、福岡県福岡市の会場に会員の皆様方が集って熱い想いを共有できる大会を企画しておりましたが、未だ収束の目途すら立たないコロナ禍にあることを踏まえ、完全WEB方式へと大会の運営方法を大きく変更いたしました。

会員の皆様方が直接顔を合わせて意見を交わし合うことは叶いませんが、オンラインの強みを活かし、従来のような2日間限りの大会期間とはせず、先行オンデマンド配信＋プログラムの一部限定WEBライブ配信＋WEBライブ配信終了後のオンデマンド配信を組み合わせて、約1ヶ月間にわたって展開されるプログラムを視聴・参加できる大会とする予定です。

特に、WEBライブ配信の2日間は、事例検討やシンポジウムのディスカッションをプログラムのメインに据えて、オンラインでも「双方向で意見交換を行う場」を作りだすことを目指し、実行

委員があれこれ知恵を絞って準備にあたっております。

パソコンやタブレット端末、スマホなどのIT機器を使ってインターネット接続ができる環境であれば、ご自宅からでも職場からでも参加できる「新しい形式」の年次大会です。是非、全国から多くの会員の方々に演題をご応募いただき、ご参加下さればと願っております。

#### < 第45回日本死の臨床研究会年次大会 >

大会会期（予定）：

2021年11月22日（月）～12月26日（日）

うち、一部プログラムは下記日程でWEBライブ配信

2021年12月4日（土） 8:30 - 18:00

12月5日（日） 8:30 - 15:45

大会テーマ：「暮らしの中にある看取りへ」

開催形式：完全WEB方式

（Zoomウェビナー&ミーティングを利用）

大会長：小杉寿文（佐賀県医療センター好生館）

梅野理加（介護付き有料老人ホームかめやま）

実行委員長：吉田晋（栄光会栄光病院）

\*大会ホームページは2021年1月中に公開予定です。